

小児科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	精巣下降のメカニズムの解明
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	消化器外科 助教 加藤翔子
試料・情報の利用目的及び 利用方法	<p>〔利用目的〕</p> <p>精巣下降が不十分な早産児および停留精巣の患者において、超音波所見、手術所見、および病理所見を収集し、精巣固定を的確なタイミングで行うとともに、精巣下降のメカニズムを解明する。</p> <p>〔対象となる患者さん〕</p> <p>2016 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日までに愛知医科大学病院にて外来受診または入院加療を行った陰嚢外精巣の患者さん</p> <p>〔研究期間〕</p> <p>研究実施承認日 ～ 2028 年 3 月 31 日</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>精巣下降の経時的変化を観察します。日常診療において得られた身体所見、超音波所見、手術所見、病理所見等の情報を収集します。収集したデータは匿名化を行った上で、発症年齢ごとの病態につき検討・解析します。研究期間中は消化器外科医局でデータを厳重に保管し、研究終了後 5 年間保管した後に廃棄します。この研究に関する資料を入手・閲覧したい場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：在胎週数、体重、既往症、超音波所見、手術所見、病理所見等
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027 年 12 月 31 日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化器外科 担当者：助教 加藤翔子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311（内線 22121）